

家庭学習の手引き



自ら学ぶ子をめざして



- 1 早ね・早起き・朝ごはん・歯みがき
＜基本的な生活習慣＞
- 2 時間を決めて、毎日決まった場所で。テレビを消して。
＜学習環境＞
- 3 まずは、宿題。ほかにもできたら、自主学習。
＜学習習慣の定着＞

◎家庭学習の約束 家の方と相談して書きましょう。

5年 組	
6年 組	

千葉市立越智小学校

児童のみなさんへ

めあて・・・宿題や予習・復習に加え、自分の興味、得意・不得意から考えた自主学習を。
○進んで行いましょう。
○まずは、宿題から 取り組みましょう。自主学習にも継続して取り組みましょう。
○毎日50分から60分は、学習しましょう。

はじめる前に

- ★家に帰ったら、まず、連絡帳や学校からのおたよりを、家の方にわたしましょう。
- ★机など学習する場所の整理整頓をしましょう。
- ★姿勢やえんぴつの持ち方にも気をつけましょう。

自主学習のヒント 【国語】

中学校では、毎日の宿題や予習・復習だけでなく、定期試験の日程から逆算して、複数の教科の学習計画を自分で立て、自主的に学習を進めていくことが必要になります。自分の興味や理解度に合わせて、学習することを決め、計画的に進める習慣をつけましょう。

<音読>

- ・正しく読めるように、毎日、練習しましょう。
- ・大切なところはどこか考えたり、様子や気持ちを想像したりしながら、読みましょう。

<言葉集め・意味調べ>

- ・国語辞典や漢字辞典を使って、言葉を調べたり、集めたりしてみましょう。

<漢字>

- ・正しい書き順で、形を整えて書けるようにしましょう。
- ・「とめ」、「はね」、「はらい」に気をつけて、ていねいにくりかえし練習しましょう。

<読書>

- ・いろいろな種類の本を読みましょう。

<日記・感想文>

- ・楽しかったことや思い出に残ったことなどを日記に書きましょう。
- ・本を読んで感じたことや考えたことを、書きましょう。



【算数】

- ・その日に学習した問題を、もう一度解いてみましょう。
- ・学習した問題と似ている問題を作り、解いてみましょう。
- ・問題の文章を読み、わかったことなどを絵や図（テープ図や線分図、数直線など）に表してみましょう。

【理科・社会など】

- ・学習に関係のあることや「おもしろそうだな」と思ったことを地図や図鑑、事典、インターネットなどで調べ、自分の考えや感想を書いてみましょう。
- ・自分で調べたことをノートや手作り新聞にまとめてみましょう。
- ・新聞を読んで、興味がある記事を見つけてみましょう。
- ・都道府県や県庁所在地を覚え、それぞれの都道府県について有名なものを調べてみましょう。
- ・歴史上の人物について資料を使って調べ、まとめてみましょう。
- ・植物や動物を観察し、観察カードにまとめてみましょう。

そのほか

- ・次の日の時間わりをそろえ、持ち物を準備しましょう。
- ・筆箱の中身を確認しましょう。
(削ったえんぴつ5本、赤青えんぴつ1本、消しゴム1こ、名前ペン、定規)



※見えるところにはって毎日の家庭学習に役立てましょう。

保護者の皆様へ

5・6年生の家庭学習について

高学年は

心身ともに成長し、考え方も大人に近づいてきます。学習に対しても、自分の興味や理解度を見極めたくて、自分なりに工夫して取り組むことができるようになってきます。教科書で扱う内容量が増え、抽象的で複雑な思考が要求されることも多くなります。自分で学習計画を立てて実行し、振り返って計画を見直し、さらに進めていくという力をつけていきたい時期です。

家庭時間のめやす

10分×学年

50～60分

家庭学習の習慣づけ

(1) 家庭学習を習慣化するためのポイント

- 毎日必ず学習させましょう。(できれば学習する時間帯を決めて)
- はじめに机の上を整頓させてください。
- テレビを見ながらなど、「ながら学習」は避けるようさせてください。
- まず宿題に取り組みせ、次に、自主学習に取り組みせましょう。
- 姿勢や鉛筆の持ち方などにも注意させましょう。



(2) 発達段階による家庭学習のめやす

低学年	中学年	高学年
○学校の宿題はできる。	○学校の宿題は確実にできる。	○宿題が出なくても基本の学習を進んで行うことができる。
○宿題以外の学習にも、興味や意欲を持つ。	○宿題以外にも、少しずつ自主的な学習ができる。	○自分の興味や必要性に合わせた自主学習ができる。

(3) 家庭学習の時間のめやす

- (10分×学年)程度が目安です。…例えば、6年生なら 10分×6=60分
 - ・宿題の分量により、宿題だけを行う日、自主学習も行う日と変えて構いません。
 - ・習い事等があり自主学習ができないときでも、宿題には必ず取り組ませましょう。

(4) 家庭学習の方法(下のような学習を参考にしてください。)

国語	算数	その他(社会・理科など)
<ul style="list-style-type: none">・漢字練習・意味調べ・日記・音読・視写・詩の暗唱・感想文	<ul style="list-style-type: none">・計算練習(ドリル・教科書の問題)・算数日記(今日の学習内容を自分でまとめる。)・習った学習の問題作り	<ul style="list-style-type: none">・勉強したことに関係することを資料などで調べる。・興味を持ったことを調べる。・学習内容をもう一度ノートにまとめる。
日常生活	<ul style="list-style-type: none">・読書に取り組ませましょう。・わからない言葉、漢字などを辞書で調べる習慣を付けさせましょう。・漢字・ローマ字・アルファベット・かけ算九九などの表、地図や地球儀、図鑑、新聞などを身近に置き、様々なことに興味を持つきっかけづくりをしましょう。・自然や生き物とふれあいを持たせ、観察させてみましょう。	

お願い

☆自分から進んで机に向かうこと、集中して取り組むことを習慣付けさせましょう。

☆高学年のお子さんにとってもやる気の源は、ご家庭での温かい助言や励ましの言葉です。できたときには「よくできたね。」などの声を掛け、たくさん褒めてあげましょう。次も頑張ろうという意欲につながります。

☆高学年でも、宿題や持ち物についての声掛けや確認は必要です。連絡帳に目を通して、持ち物の手助けをしていただきながら、学校生活について話題にしてみてください。

☆ご家庭でニュースなどの話題についてお話しいただくと、社会に目を向けるきっかけになります。